

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	LEGONKids S		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2026年 1月 24日		～ 2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動ルーム、プレイルーム、学習室、個室があり、小集団で安心して活動することができる	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数で児童が安全に集中して取り組むことができるようにしている ・集中して取り組むことができる学習室、クールダウンの個室を確保している ・児童自身がスケジュールを確認して行動することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・各部屋の安全確認を定期的に行う ・クールダウンがしやすいような環境調整を行う ・スケジュール表の表示方法を個々に応じて変えていく
2	児童が意欲的に取り組むことができるように様々なプログラムを用意している	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎トレーニングは、ビンゴカードを用意し、目標をわかりやすくしている ・手先のトレーニングは、職員と一対一でかわる時間を設け、集中して取り組むことができるようにしている ・レクリエーションは、利用予定児童によって必要な外出支援、調理レク、SSTを行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい取り組みを日々考えていく ・職員会議でプログラム立案を行なっていく ・アンケートや個別相談にて、児童や保護者様にレクリエーションの希望を聞いていく
3	就学準備として、少しずつ宿題に向けての練習を行なっている	<p>年少→お絵描き、塗り絵、線のなぞり書き 年中→すうじ、ひらがな 年長→宿題に向けての練習（たしざん、ひらがな、音読） 座位時間を確保し、少しずつ就学に向けての練習を行なっている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・就学準備として、模擬授業や板書の練習を行なっていく ・低年齢の時期から、座位時間を確保し、姿勢保持、集中力の向上を図っていく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職以外の研修機会が少ない	避難訓練、感染症などの研修は定期的に行なっているが、専門職の研修の機会をあまり設けられていない	職員会議等で必要な研修を検討する専門職が中心となる研修を行なっていく
2	保護者交流会やきょうだい交流の機会が少ない	年に一度保護者交流会を行っているが兄弟が参加できる機会を設けられていない	保護者交流会の頻度を増やし、きょうだい交流の機会も設けていく
3	レクリエーションがパターン化しているところがある	企画・運営が特定の職員に偏り、発想が似通っている。過去に好評だった内容を優先することで、新しい取組に挑戦しにくい状況がある。	職員会議等で意見交換の機会を設け、児童が楽しめるレクリエーションを考案していく。